

2012年9月(*部および記載要領変更に伴う改訂)

服用に際して、この添付文書を必ずお読みください。また必要なときに読めるよう大切に保管してください
使用期限(パッケージ側面に記載)を過ぎた製品は服用しないこと

痛いひざ・腰に 鎮痛成分イブプロフェン配合

アンメルシン[®] 鎮痛錠

販売名: アンメルシン 鎮痛錠 解熱鎮痛薬 * 第②類医薬品

特徴

1. 有効成分として、消炎鎮痛効果に優れたイブプロフェンを配合しました
2. 有効成分が患部の炎症を抑え、つらいひざなどの痛みを素早く鎮めます
3. 体の中から有効成分が痛みの伝わりをブロックするので、体の内側の痛みにも効果的です

⚠ 使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

1. 次の人は服用しないこと
 - (1) 本剤または本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人
 - (2) 本剤または他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人
 - (3) 15才未満の小児
 - * (4) 出産予定日 12 週以内の妊婦
2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬
3. 服用前後は飲酒しないこと
4. 長期連用しないこと



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師または登録販売者に相談すること
 - (1) 医師または歯科医師の治療を受けている人
 - (2) 妊婦または妊娠していると思われる人
 - (3) 授乳中の人
 - (4) 高齢者
 - (5) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
 - (6) 次の診断を受けた人
心臓病、腎臓病、肝臓病、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病
 - (7) 次の病気にかったことのある人
胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン氏病
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、青あざができる
消化器	吐き気、嘔吐、食欲不振、胃部不快感、胃痛、口内炎、胸やけ、胃もたれ、胃腸出血、腹痛、下痢、血便
精神神経系	めまい
循環器	動悸
呼吸器	息切れ
その他	目のかすみ、耳なり、むくみ、鼻血、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい、出血、背中の痛み、過度の体温低下、からだがだるい

(裏面につづく)

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮ふのかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁などがあらわれる
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮ふの広範囲の発疹・発赤などが持続したり、急激に悪化する
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮ふや白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振などがあらわれる
腎 障 害	発熱、発疹、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢などがあらわれる
無菌性髄膜炎	首筋のつばりを伴った激しい頭痛、発熱、吐き気、嘔吐などの症状があらわれる(このような症状は、特に全身性エリテマトーデスまたは混合性結合組織病の治療を受けている人で多く報告されている)
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しいなどがあらわれる
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮ふや粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらくとする、血尿などがあらわれる
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛みなどがあらわれる

- 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続または増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師または登録販売者に相談すること
便秘
- 5～6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

効能・効果

関節痛・腰痛・神経痛・筋肉痛・肩こり痛・頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛(生理痛)・外傷痛の鎮痛、悪寒・発熱時の解熱

用法・用量

年 齢	1回量	1日服用回数
大人(15才以上)	2錠	3回まで
15才未満	× 服用しないこと	

なるべく空腹時をさけて服用する
服用間隔は4時間以上おくと
〈用法・用量に関連する注意〉定められた用法・用量を厳守すること

成分・分量 1日量(6錠)中

イブプロフェン…450mg
添加物として、グルコサミン塩酸塩、コンドロイチン硫酸エステルNa、ヒドロキシプロピルセルロース、セルロース、トウモロコシデンプン、乳糖、クロスCMC-Na、ステアリン酸Mg、ヒプロメロース、酸化チタン、マクロゴール、三二酸化鉄、カルナウバロウを含有する

保管および取扱い上の注意

- 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しいところに保管すること
- 小児の手の届かないところに保管すること
- 他の容器に入れ替えないこと(誤用の原因になったり品質が変わる)

製品のお問合せは、お買求めのお店またはお客様相談室にお願いいたします

錠剤の取り出し方

下図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して、裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用すること(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さるなど思わぬ事故につながる)

